



【男女共同参画社会の実現をめざす情報誌】

特集

ビューティフルライフ

いい夫婦のかたち

- 岡山市男女共同参画社会推進センター
「さんかく岡山」4月8日オープン
- DUO編集委員募集

OKAYAMA

2000.3

vol. 18

DUO

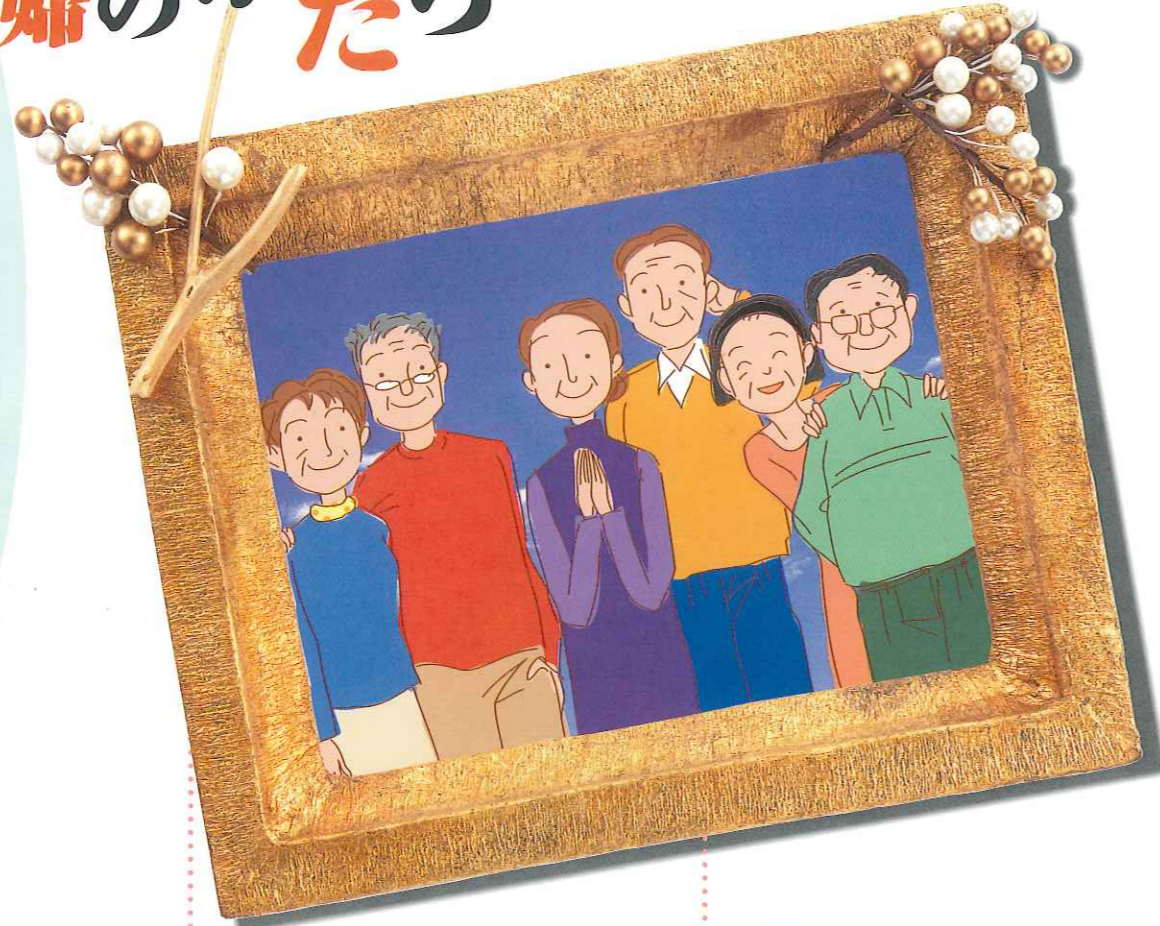
【デュオ】



岡山市

いい夫婦のかたち

「いい夫婦のかたち」は夫婦それぞれ、夫婦が「わたしはこれだ」と思っている、他人が口出しをすることはないかもしれませんが、せっかくの男女共同参画社会、ちよっと夫婦のかたちをみつめ直してみませんか。



今日は、ご自身又はパートナーの方が、定年退職を迎えられ、現在は、悠悠自適というか決まったお仕事には就かれていらっしやらないという4人の方をお招きして、退職後の夫婦像を伺いながら、いい夫婦のかたちを編集委員もいっしょに考えてみたいと思います。まずは、自己紹介も兼ねまして現在のご夫婦の様子などをお話しくさいます。

A 夫は数年前に会社を定年で退職しました。子ども達は、すでに独立をし、今は夫婦2人だけで暮らしています。夫はカルチャー教室で講師をしたり、それまでの経験を生かしてアルバイトのようなことをしたりして充実した生活をしていると思います。わたしもホームヘルパーの資格を持っているので、時々ホームヘルパーとして、よそのお宅に介護のお手伝いに行っています。定年後も夫は何かと外に出ていくことが多いので、定年前と比べて生活に大きな変化は無いように思います。

B うちも子ども達が独立していますので、夫婦2人暮らしの毎日です。夫は働くのが趣味といえるようなバリバリの企業戦士でした。私はそんな夫と結婚していましたので、妻は家にいるのが当たり前、専業主婦であることに何の疑問も持っていませんでした。ただ定年前から夫と話し合いをしていて、定年後は社会的な立場も平等になるから、お互い束縛しないでやっという約束していました。

定年までにその後の人生設計・夫婦のあり方などを話し合っておくことは、その後の人生を有意義に過ごすために必要なことだと思いますね。(編集委員)

立場が平等になるというのは、どういうことでしょうか?

B やはり、夫には家族を養っているという気持ちがあったんだと思いますし、家のことをしたくても仕事、仕事で時間がありませんでした。ですから定年退職後は「年金生活になったことだし、時間もたっぷりあるし、これで平等だね」と言われました。事実、Aさんところと違ってアルバイト的なことをして収入を得ることもなく、退職後に始めた家庭菜園で夫婦で汗を流しています。

一般的には、収入の多少によって夫婦の平等感が異なるという考え方はまだまだ残っている気がしますね。でも、そういう考え方は早くなくしていかないと、共働きの夫婦でさえも性別役割分担の意識が強くなってしまわないかな。(編)

C 私は、自分の仕事がつらいとか、早くやめたいとか、と一度も思ったことは無かったが、やりたいことがたくさんあったので定年がくるのが待ち遠しくて仕方なかったです。だから今は毎日充実して過ごしています。働いていた頃は、自分の住んでいる地域のことは妻任せにしていたのですが、今では地域との関わりもたくさん持ち、責任あることを任されてもいます。自分が元来好きなことをしてきたので、妻のやることに対しても束縛をしたつもりも無く、現在もお互いにしたいことをしているという感じです。

定年を心待ちにするというのは新しい考え方ですね。普通は、「いよいよ来た」というマイナスの境地になりがちですから。(編)

D 私は自営業だったので、定年というものはなかったのですが、数年前に仕事はやめました。子ども達はそれぞれ独立し家庭を持っているので、やはりうちも夫婦2人暮らし。正直言って暇を持って余している部分もあります。夫婦だけでずっと自営業をやっていたので、仕事をやめたからといって、他の皆さんのように、ある日を境に夫婦だけの生活が始まったわけではないです。だから、役割分担がどうこうといったこともありません。まだまだ日本は女性が差別されている社会だという声をよく聞くが、私自身は妻を差別してきたとは考えていません。

Dさんを除くと、定年退職になって初めて夫婦ですっと一日中過ごすという生活になったようですが、そうってみてそれぞれのパートナーの違う面が見えてきたということはありませんか。

B それまで、家のことは私に任せっぱなしだった夫が、私の家事のやり方などに口を出すようになりまし

たね。無駄なことが多いとか、おおざっぱだなあとと言われるんですよ。

でも、長年連れ添った夫婦でも、お互いのことで気がついていなかった面があるんだなあとあって、夫の定年退職後は、逆に相手を見つめるいい機会になりました。

C それは、会社づとめをしていると仕方が無いですよ。無駄な経費は使わないというのは、どこの会社でも徹底してやっていることですから、長年積み重なったものがあるんです。私も妻の洗濯の仕方とか掃除の仕方が、無駄なことやってるなあ、もっと効率的にやれば良いのに、とずっと思っていました。だから退職後は、いつのまにか洗濯も掃除も私の仕事になってしまいました。

それに関連して、男性が家事をすることについては、どう思われますか。

C 「主夫」ですね…私はそういう言葉に違和感はないです。妻の方が夫より仕事の能力があれば、妻が社会に出ていけばいいと思います。

仕事をするのは、もちろん生活のためにすることですが、働きたいという意欲も重要な要素ですね。女性の場合、意欲はあるけど家事、育児、介護など、いろいろな事情があってできない、また反対に男



性が地域の活動をしたいと思って、も仕事に忙しすぎてできない、というのが実状でしょうか。(編)

A 私はやはり男性の方が能力があるような気がするんですが、どうでしょうか。

B 私は、能力は個人個人の問題であって、男性だから女性だからという性差によるものではないと思います。そういう考えがまだ多いのは、やはり教育のされ方で、男女差のすり込みからくるものだと思いますね。

夫婦がお互いの得手不得手な部分でカバーし合えるパートナーシップを培える結婚生活を送れるといいですね。(編)

Bさんのパートナーは、企業戦士からすっかり変身されたようですが、定年前と定年後では、どちらの方が魅力的に思われますか。

B 難しいですね。バリバリ仕事をしていた頃の夫も素敵でしたが、今の夫も良いと思います。本当に時と場合によりますね。ただ、夫は地域との関わりが全くない生活をしてきたので、もう少し

地域で何かするというに動いて欲しいと思っています。やはり今でも付き合っているのは、元の職場の同僚の方ばかりのようですので…。

A 私のお友達のご主人には、奥さんの外出に必ずついていくという方がいらっしゃいます。時間がたっぷりあって無事から、奥さんにべったり付いていらっしゃるようですが。

B 私の周囲のお友達に聞いてみると、定年退職後、家に閉じこもりがちタイプと積極的に外へ出ていくタイプに分かれるようですね。うちの夫はどちらも積極的に出ていこうとは思いませんね。

やはり定年を迎えるまでに職場での友人関係だけでなく、全く異なった関係で知り合ったネットワークをしっかりと作っておくことが大切のように感じますね。(編)

C ご主人は管理職で偉い人だったんじゃないですか。定年後は全く平等な社会だから、慣れるまでには、意識の中でどうしても昔の肩書きが邪魔をしてしまうのではないかなあと思うんです。

D 私は、出ていけないタイプの人は、それはそれで良いんじゃないかと思っています。

A ただ、奥さんにべったりとくっつけられると、奥さんの生活や行動がおのずと規制されてしまうのではないのでしょうか。奥さんだって自由な時間は持ちたいでしょうし、それこそ束縛していることになりませんか。

B それにずっと家の中に閉じこもっていると体力の低下が心配になりますね。だから、うちは家庭菜園で

もと思って、夫婦で畑仕事をしています。男性も50代になったら、定年後は何をしたいのか考えておいて欲しいですが、でも現実には、日々の生活が忙しくてそんな暇は無かったみたいです。

妻と夫が、それぞれ別の世界を持つということ、そしてそれをお互い尊重することも大切なようですね。(編)

お互いが束縛し合わないことを心がけているといったお話が出ていましたが、定年退職を迎えられているご夫婦だけでなく、今の若いご夫婦にも共通して大切だと思われる事は何でしょうか。

B 相手に対する思いやりが大切だと思います。思いやりがあれば相手を束縛するようなことも無いのではないのでしょうか。

D その通りだと思います。今の若い世代の意見や考えを新聞の投書欄などで見聞きすることがありますが、自己主張ばかりで相手への思いやりを感じられません。

A 同感ですね。夫婦間にしても家族間にしても愛の無い家庭が多くなってきているように思います。これはホームヘルパーに行っていて、感じることでですね。

C 「生涯を通じて自分がしたいことは何か。」を見つけることが

大事だと思います。そうすれば、若いうちに経験することも出会う人も、全てがそのことの肥やしになるのではないのでしょうか。

自分がどのように一生を終えたいのか、人生の設計図を描いておくこと!ですね。(編)

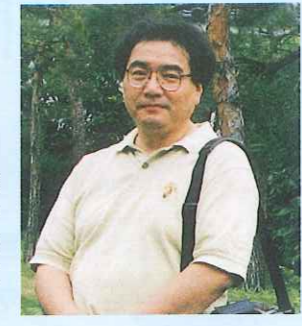
D 話が前後しますが、私は、夫婦はある程度干渉し合う生活のほうが良いのではないかと思います。お互いに何をしているのか分からないようでは困ります。

束縛しないことが相手への思いやりという考えは、「束縛しないことイコール無関心であること」というわけではなく、逆にDさんのお話の中の干渉するというのは、「干渉することイコール強要すること」というわけではないんです。長い年月を夫婦で生活していくというためには、若いうちからお互いに対して思いやりを持つことが大切で、お互いに愛情を持っていれば、その間に起こる、妻の出産を始め、育児のために女性が仕事を辞めるとか、親の介護とか、長期の入院とか、パートナーの定年退職とかの節目節目も、2人で切り抜けていくことができるのです。

D 私らの年代には、愛情というとちょっと照れくさいですけど、まあそういうことですかね。



夫婦のかたち



ビューティフルライフ
いい夫婦のかたち
Tanbara Tsunenori
丹原恒則さん

丹原さんは、ご自身も、共働きの結婚生活の中で、男の育児時間をとるなどして子育て問題を乗り切ったものの、妻の老いた親のために退職して東京から岡山へもどってこられたという経歴の持ち主です。現在は、「ジェンダー・セクシュアリティ研究準備会岡山」世話人として、講演、執筆活動に活躍されていますが、今回、丹原さんに「夫婦のかたち」についてお聞きしました。

夫婦のかたちは「愛情」+「思いやり」!?

いいなあと思える夫婦、ちょっと素敵な夫婦、いい感じの夫婦、こんな憧れの夫婦像に共通する夫婦関係で大切なものって何でしょうか。

若い夫婦であれ熟年夫婦であれ、大切なものは、まず「愛情」と「思いやり」でしょう。

「愛情」は、感情的に心と体の奥深いところで実感され、「思いやり」は、相手の立場や気持ちを考えられる理性的で高度な精神作用が必要とされると思います。

熟年夫婦の語りからみえてくるもの

世間で見聞きする魅力的な熟年夫婦の経験は、どこか似たところがあります。男は仕事、女は家庭という分担で生きてきた夫婦が、退職を機に、二人して地域と家庭中心の生活に変わり、男性も家事や孫(今や流行歌になる時代)育てといった育児、看護などに関わるようになり、いわゆる、生活的自立をうながされていくのです。また、夫婦で家庭菜園や趣味講座などに足を運び、文化的精神的自立につながる暮らしを楽しんでいます。

家事や看護など無償労働の分野に、仕事の重責から離れた男性が、積極的に関わる意義を見いだせば、男女共同参画社会の有力な担い手になれるのではないのでしょうか。

体験的な夫婦関係のかたち

私事になりますが、思春期の頃、なぜ人は生きるのかを自問して、思い至った生き続ける意味は、欲求が生じる限り、「感動的なコミュニケーションを体験する」ことでした。それは人との相互交流であったりします。これは私が他者との関係を創る大切な要素です。

また、当時、私は自分の親をみて、強く逞しくリーダーシップをとる厳父と優しく素直で従順な慈母の夫婦夫婦で、養い養われる関係に違和感をいだいたものです。そこで、自分は、できればパートナーと「自由で対等な関係」を創りたいと思い、これまで共働きを前提にした生き方をめざし、料理教室に通い、男の育児時間をとったりしてきました。

男女共同参画社会の夫婦(「男」「女」、人間関係)のかたち

冒頭の「愛情」と「思いやり」に「敬意」を加えて、現代的な意味をもつ「愛」「敬」「恕」(自分の心の如く他者を思いやる)に基づく夫婦関係を説いた人が、今から百年以上も前にいます。それは福沢諭吉です。セピア色の表現ですが、今日の男女共同参画社会の基本理念(男女の人権や尊厳の尊重、社会制度や慣行への配慮=固定的な性別役割分担等を中立的にする等々)になる考え方が示され、内容的に味わい深いものがあります。

「愛」は、夫婦「相互に隔てなくして可愛がる」動物としての人類の情です。人を動物から万物の霊にする「敬」は夫婦「互いに丁寧にし大事にする」ことであり、一方的な上下関係で妻が夫を敬うのではなく、お互いに平等な関係で敬い、夫こそ、妻を尊敬し、敬意をはらうことが求められています。

この「お互いに」「相互に」が、「愛」と「敬」を上下関係ではなく、現代的な平等な関係の意味に変え、そして、「可愛がる」「大事にする」と結びついて、夫婦がともに何かをする共同分担する=固定的な性別役割分担を見直す意味になっています。

さらに、「恕」とは、己の欲せざる所を人に施すなかれ=自分と他者の尊厳を侵すことがないように思いやる意味になりますが、福沢の尊厳は、まず、自分を信じ、重んじられるか自問自答する個人の自立を求めたうえで、自立し合った者同士の関係を目指します。

このように夫婦には「ともにすること」と「ともにしてはならないこと」があります。

つまり、男女共同参画社会の夫婦(「男」「女」、人間関係)とは、「愛」「敬」に基づき、必要に応じ固定的な性別分業を見直し、家事・育児・介護・看護を共同分担して、かつ、試みに、男女の立場を交換して、男の欲せざる所(暴力などにより尊厳を侵されること)を女に施すなかれという「恕」に基づき、親しきなかにも礼儀ありの精神で、夫婦お互いに人権を尊重していくことではないのでしょうか。

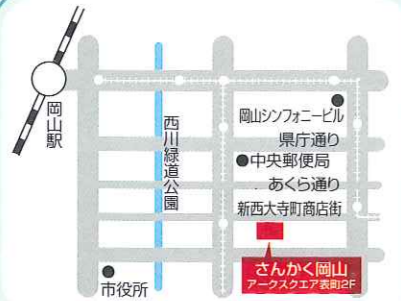
このいい関係の記憶は、たとえその身が滅んでも関係者の心の中に生き続けていくのでしょうか。「あなたと生きて…ありがとう…」という感謝の気持ちとともに…。

岡山市男女共同参画社会推進センター

「さんかく岡山」4月8日オープン

さんかく岡山は、男女共同参画社会の早期実現をめざすための拠点施設であり、性別、世代を問わず幅広い方々の自主的な活動を支援していきます。

◎センター開設に伴い岡山ファミリーサポートセンターは、センター内に移転します。また岡山市女性情報プラザは閉館しました。



所在地 岡山市表町三丁目14番1-201号
(アークスクエア表町2階)
TEL.227-2525 FAX.227-2526

開館時間 9時30分～20時
(日曜、祝日は9時30分～17時)

休館日 毎週火曜日、年末年始

会議室

最大100人まで利用できます。
2部屋に分割しても使用できます。有料。

施設名	午前10時 正午	午後1時 午後5時	午後6時 午後8時	午前10時 午後5時	午後1時 午後8時	午前10時 午後8時
会議室 A	2,200円	4,400円	2,200円	6,600円	6,600円	8,800円
会議室 B	2,200円	4,400円	2,200円	6,600円	6,600円	8,800円

託児室

保育ボランティアによる託児をします。

子育て中の方がセンターを利用したり、商店街などで用件を済ませていただけるように託児室を設けます。
利用料金は子ども一人につき一時間600円。
(センター利用者は500円)



コピー室

印刷機などを利用してグループの機関誌づくりなどができます。

ミーティングルーム

少人数のグループの会合などに利用できます。
使用料無料。

情報AVコーナー

図書・ビデオの閲覧・貸出をします。パソコンも3台あり、インターネットも利用できます。

相談室

一般相談のほか女性相談員による特別相談(毎月1回)も行います。

交流サロン

自由に使っていただける出会いと交流のフリースペースです。
ティーサーバーもあります。

登録団体 グループ 募集

センターに団体登録されると、会議室使用料の減額など、より便利にセンターを利用いただけます。登録料無料。随時受付。
詳しくはセンターへ。

DUO 読者アンケート

- 1 今回の「デュオ」はどうでしたか?
①よかった記事 ()
②よくなかった記事 ()
- 2 特集「ビューティフルライフ いい夫婦のかたち」を読んでどんなことを感じられましたか?
- 3 今後取り上げてほしいテーマ、また、その他ご意見などありましたらお書き下さい。

差し支えなければご記入下さい。

住所 〒

氏名

ご協力ありがとうございました。

編集委員募集

男女共同参画社会の実現をめざす情報誌「DUO」では、新しい編集委員を募集します。わかりやすく、親しみやすい情報誌づくりの仲間をお待ちしています。

資格

岡山市在住で、男女共同参画社会の推進に関心のある人
月1～2回、平日、2時間程度の会議に出席できる人

任期

平成12年5月から平成14年3月まで(4回発行)

募集人数

5名以内

謝礼

1回発行につき2万円

応募方法

応募用紙に、必要事項を記入のうえ、市男女共同参画課へ送付または持参してください。
なお応募用紙は、市役所、各支所、各公民館にあります。

締め切り

平成12年4月24日(月)必着



申込み・問い合わせはこちらまで

〒700-8544
岡山市大供一丁目1-1
岡山市役所 男女共同参画課

TEL.086-225-4211(内線3531)
FAX.086-225-5408

編集後記

今回のテーマ「いい夫婦のかたち」いかがでしたか? いざ取り組んでみると、個人の問題であり、情報誌としてどこまで表現したらいいのか、たいへん悩みました。ただ「男女共同参画社会」の中で生き生きと暮らせるひとりの「ひと」であり夫婦であってほしいという願いが伝われば幸いです。

そして今号で一般公募の編集委員さんが交替します。いっしょに考え、悩みながらも「男女共同参画社会の実現のために」という同じ想いで編集作業できたことは心強い限りでした。これからもますますご活躍して下さること楽しみにしています。

春です。新しいセンターもできます。新しい、どんな出会いが待ってるでしょうか…。

事務局Y



事務局O



きりとり線

郵便はがき

700-8544

お手数ですが
50円切手を
貼って投函下さい

岡山市大供一丁目1番1号
岡山市男女共同参画課 行

アンケートにご協力下さい(○をつけて下さい)

性別	①女性 ②男性
年齢	①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代 ⑧80代以上
デュオを見たのは	①はじめて ②2回目 ③その他()
入手先	①市役所・支所 ②公民館 ③図書館 ④理美容院 ⑤その他()